

「同窓の集い」再開！

詳細は4頁をご覧ください

戦禍のウクライナに彫刻が設置される

八木 ヨシオ

(駒16 美術科)



昨年ウクライナに作品が設置された、石彫作家としてご活躍の八木ヨシオさんにご寄稿頂きました。



イルピンの作品「僧侶のための瞑想空間」被災した中央文化会館前にて



▲除幕式 2024年1月10日

▶カニウ彫刻シンポジウム制作風景

2024年春、戦禍のウクライナ・キーウに隣接するイルピン市に私の彫刻ミニメントが設置されました。ウクライナの美術学芸員よりメールがあり、戦禍に負けない意思表示として、彫刻作品を設置すること、除幕式用に作品の意図、タイトルなどを要望されました。現地には行けませんでした。現地には行けませんでした。除幕の方式、音楽などの要請がありました。

式典にはイルピン市長、日本大使館員、美術学芸員、TV、彫刻シンポジウムオルガナイザーなどの参加があり、式次第はフェイスブックで拡散され、多くの人が目にして問い合わせも多々ありました。

本作品は2019年ウクライナ中部のカニウ国際彫刻シンポジウムより招待を受け、高齢にもかかわらず参加、現地制作をした作品です。

彫刻のシンポジウムとは数カ国の彫刻家が生活と制作を共にして国境を越えたコミュニケーションと作品制作の競演のプロジェクトで、かつて日本でも多く開催されてきました。

シンポジウム開催地カニウはウクライナのほぼ中心に当たる地で大河ドニプロ川の川沿いにあり河を前に見たアートスタジオであり、毎年のようにシンポジウムほか、アートイベントが行われています。(オーナーは企業の経営者でアートコレクターでもあるユリー・スタスキフ)

タイトルは「Meditation place for monks」[修行僧の瞑想の場] 不可思議なタイトルではありますが、作品に形態の美しさ以上の物語や意味性を伝えることを旨としています。作品の設置根拠は戦禍のイルピンで美しさ以上に精神の活動に反戦を訴えるミニメントとして提示したかったのです。

制作時、御影石の素材と私の緊迫した遣り取りが、爆撃を受けた文化会館に生命の記憶として標されたものと思っています。

材質は御影石、寸法は2m50cm×2m50cm×1m、重さ6トン。写真のように石室があり、自然石が鎮座している険しい道のりを超えて石庵の瞑想の場で僧侶が修行する状況を願いました。

カニウ彫刻シンポジウムの参加作家は7名、ウクライナ3名、ドイツ、カナダ、フランス、日本各1名、大河の見渡せるワーカーヤードでそれぞれの作品を制作しています。仕事の合間に制作の話、国柄の話、言葉の通じる限りの情報交換とコミュニケーションは楽しいひと時でした。

シンポジウム終了の翌年からにわかに戦争が始まり、大らかなウクライナの人々にはそぐわない驚きの現実、安定した日本とは違う複雑な歴史を持った国柄を彷彿とさせるものでした。カニウでは仕事場に訪れる日

駒場松桜会会報

第115号

2025年4月1日発行

一般財団法人
駒場松桜会
都立駒場高校同窓会

〒153-0044
目黒区大橋2-18-1
都立駒場高校内

TEL/FAX

03-3466-7579
(毎月曜日の業務日
以外は留守番電話)

携帯電話から住所
変更ができます。



住所変更専用
QRコード

作品について

八木ヨシオ氏 経歴

1945年	東京生まれ
1964年	都立駒場高校美術科卒業 マティアス・ヒッツ氏に師事(オーストリア)
1966年	霧ヶ峰彫刻シンポジウム(長野県諏訪市)
1973年	帯広石彫シンポジウム(北海道帯広市)
1975年	ときわ画廊個展 沖縄海洋博覧会彫刻設置(沖縄県本部町)
1980年	リンダブル石彫シンポジウム(オーストリア)
1984年	バーデン石彫シンポジウム(オーストリア)
1987年	ラムステン石彫シンポジウム(スコットランド)
1990年	東京国際展示場ビッグサイト外郊設計プロジェクト 多摩ニュータウン鶴牧西公園彫刻設置(多摩市)
1993年	リンダブル石彫シンポジウム(オーストリア)
1994年	国際グラニット彫刻シンポジウム(カナダ トロント)
1995年	キルケニー国際石彫シンポジウム(アイルランド)
1997年	七尾国際石彫シンポジウム(石川県七尾市)
2000年	埼玉新都心ビックコア地区彫刻設置(現さいたま市)
2001年	タンジェ国際石彫シンポジウム(モロッコ)
2002年	オカナガン国際石彫シンポジウム(カナダ)
2004年	ヴェンツピルス国際石彫シンポジウム(ラトヴィア)
2007年	ガイジンカルルス国際彫刻シンポジウム(ラトヴィア)
2008年	イズミール国際石彫シンポジウム(トルコ)
2010年	国際石彫シンポジウム カルダス・ダ・ライニーニャ(ポルトガル)
2011年	ガゼミア石彫シンポジウム(トルコ イズミール) 精華大学100年期キャンパス国際彫刻展(中国 北京)
2015年	恵安石彫シンポジウム(中国 恵安) 大蔵山ワークキャンプ・アートディレクター(宮城県白石蔵王)
2019年	ウクライナ国際シンポジウム(ウクライナ・カニウ)
2023年	「現代の危機と芸術」講義(日大法学部)
2024年	ウクライナ・イルビン中央文化会館 反戦モニュメント設置(ウクライナ・イルビン)



「新しい風」さいたま新都心、大理石

本語の好きな青年と知り合い、その後もメール交流をしていました。カニウにも空襲警報があり、巷では兵役の勧誘があるとのこと、当時より日本への渡航を願っていましたが、適わず今に至っています。

戦禍の只中に作品を設置することは勿論初めてですが、彫刻作品が平和のための役割を担うことへの重さと、臨場感を受け取っています。

日本での公共彫刻は、平和、健康美、都市の快適性など、明るい建設的なテーマが望まれています。平和と言われる日本の現状を表しているものですが、

都市のオーナーメントの役割だけで良いのでしょうか？ 今後の公共彫刻の在り方を再考する時期のようです。

作品は時代を反映する依代です。どのように変化するか興味深いものがあります。

駒場高校・美術科について

彫刻を始める切っ掛けは芸術高校の前身、今は無き都立駒場高校芸術科です。美術科と音楽科でひとつのクラスとなっており、3年間クラス変えのない親密な交友関係で、学科半分実技半分の真に自由で楽しい思い出の高校生活でした。

美術科の授業は東京芸大様式のアカデミック教育が基本であり、デザインから絵画、彫刻、美術史、理論など一通りの授業を経験しました。

作家生活の今でも制作の礎となっており、教育とは大した物だと思っています。石彫作家になっ

参加したシンポジウム

霧ヶ峰、沖縄、帯広、岡崎、萩、七尾、岩手、丸森、オーストラリア、カナダ、スコットランド、カナダ、モロッコ、オーストリア

たのは卒業後まもなく、日本では珍しい石彫シンポジウムの情報聞き、首尾よくアシスタントとしてもぐりこみ、一通りの石彫の技を体験し、その学習を基に独学に近い形で石の彫刻を修得して今に続いています。

海外での彫刻シンポジウムに参加を重ね、屋外彫刻のスケールの大きな作品制作や作品コンセプト、世界の中での日本の様相、特質を直に感じ取ることになりました。

制作を共にする作家間の交流では、お互いの深い所での思考や感性の理解を共有することができました。

時代は大きく変わります。表現手段も多岐にわたりますが、美術や音楽、コミュニケーションなどは今後も無くなりません、身体性の感受性はこの先も一層大切なことになると思います。

その日々の中で、学習を支えてくださった先生方、家族、そして毎日を鮮やかに彩ってくれた仲間、心から感謝しています。私は共に成長できる仲間と出会い、素晴らしい環境で学べたことを誇りに思います。

新入会員から

駒77-2ホーム 瀧本 ひかり



入学式、その日は勉強と部活の両立を心に決めました。



駒77-4ホーム 久利 紗弓

私の駒場高校での3年間は、とても思い出深いものでした。何

より嬉しかったのは、入学当初のコロナ禍の制限が少しずつ緩和され、高校生活を存分に楽しめたことです。

コロナ禍を経て実現した念願の沖縄修学旅行では、現地の方々の

♪ 2024年度 駒場松桜会ピアノジョイントコンサート報告 (2024年11月30日) ♪



穏やかな天気の日、会場は立ち見ができるかもと心配するくらい、大勢のお客様でいっぱいになりました。それもそのはず、本来ならそれぞれお一人で開催しても充分なところ、演奏者お二人のご希望でジョイントコンサートが実現したので。酒井起世子さんと津田理子さんは駒場高校音楽科(駒19)で知り合い、現在まで長く友情をはぐくんできつていました。今回偶然にそれぞれが応募なさったことから、お二人で相談のスイスから帰国される日程を調整され、酒井さんとお二人で公演できることになりました。開演に先立ち、馬淵理事長から、現在の駒場高校の小澤校長、経営企画室の小杉室長、また、二人の恩師である英語の牧瀬先生もいらして下さっているとの紹介があり、お二人にとって



も松桜会にとつても意義深い一日となりました。さて、お二人ともブルー系ではあるものの、それぞれの個性が表れたシックな衣装で登場なさいました。第一部は淡いブルーのシフォンのワンピースの裾を揺らしながら酒井起世子さんが登場され、バッハの「フランス組曲第5番」、シューベルトの「3つのピアノ作品より第2番」、フォーレの「カプリス第1番」を一息に弾かれ、一呼吸おいて、フランクの「プレリュード」、コラールと「フーガ」を演奏なさいました。バッハは快く胸に響き、会場全体を包み込んでくれました。落ち着いた印象のシューベルト、きらきらと光がきらめくようなフォーレと、それぞれバッハとは全然違う印象を与え、最後のフランクはフランクらしい難解な曲なのですが、重厚ながらも明快な演奏で最後まで会場の一人ひとりが引き込まれていました。第二部は津田理子さんが登場。ブルーのレースのトップに黒のパンタロンがすてきです。

ベートーヴェンの「ソナタ第1番」とブラームスの「シューマンの主題による16の変奏曲」を演奏なさいました。ベートーヴェンはとてもクリアな、酒井さんとはまた個性の違う響きに身をゆだねて聴きほれました。ブラームスは変奏曲の一曲一曲に込められているであろう思いを想像しながら聴かせていただきました。お二人の演奏が終わったところで、酒井さんがマイクトークをしてくださいました。松桜会がセッティングさせていただいたステージに二人で立てたことを喜んでいらっしゃいました。アンコールに津田さんが明日からクリスマスシーズンになるので、と、バッハの「主よ人の望みの喜びよ」(マイラ・ヘス編曲)を演奏なさり、その余韻をかみしめつつ、お開きとなりました。

角田やよい(駒29)

次回「松桜会コンサート」の予定

2025年11月29日(土)

於 東京オペラシティ
リサイタルホール

◆都駒祭の報告

コロナ禍に対応しつつ、母校では9月7日(土)・8日(日)に開催されました。

松桜会は仰光寮を公開することで参加しました。老朽化が進んでおり、1階のみを公開しましたが、2日間で685名の来場者がありました。

◆松桜会コンサート 出演者募集!

2025年11月29日(土)

午後2時から、東京オペラシティリサイタルホールにて松桜会コンサートを開催する予定です。

つきましては、出演ご希望の方を募集いたします。ご希望の方は5月末日までに松桜会事務局までお問い合わせください。

尚、コンサート開催に際しましては、本年も新型コロナウイルスなどの感染状況をしながら、適宜対策を講じてまいります。

詳細が決まりましたらホームページに掲載し、次号会報でもお知らせいたします。



駒77 保体科 大塚 克

温かな歓迎のもとで歴史や文化に触れ、寝食を共にした仲間との絆もさらに深めることができました。学年を問わず団結して挑んだ体育祭や、一人一人がこだわり抜いた都駒祭のクラス演劇も印象深いものでした。観客の盛大な拍手を浴び、大成功を全員で喜び合った瞬間は忘れられません。駒場ならではの恵まれた環境の中で出会った駒77の皆と支え合い、笑い合う日々がかけがえのないものとなりました。先生方をはじめ、私たちを常に励まし、見守ってくださった多くの方々に心から感謝しています。ありがとうございました。

さんの山を乗り越えてきました。部活動・実習・体育祭・文化祭など、多くの困難を目の前にし、何度も挫けそうになったこともありましたが、しかし、私はその困難を乗り越えることができました。それは紛れもなく、仲間たちのおかげであると思っています。楽しい時や苦しい時、時にはぶつかり合うこともありました。たぐさんの時間を共に過ごし、築き上げた絆があります。この仲間たちと過ごした3年間はかけがえのない思い出になると思っています。このように充実した3年間は多くの人の支えの上に成り立っており、様々な人のサポートがあったからこそ3年間であると思います。このことを肝に銘じ、感謝の気持ちを持ち、駒場で過ごした3年を次なる大きな壁にぶつけていきたいです。

「同窓の集い」再開!



**ビュッフェスタイル
フリードリンク!**
(20歳未満はソフトドリンクですよ)

コロナ禍以来、久しぶりの再開です。
同窓の楽しい交流の場となりますように…
どうぞお誘いあわせの上、ご参加ください!

日時：2025年6月28日(土)

午後3時～5時(受付 2時30分～)

会場：主婦会館プラザエフ 地下2階「クラルテ」

最寄り駅：JR 四ツ谷駅 (麹町口から徒歩1分)

東京メトロ南北線 四ツ谷駅 (3番出口から徒歩3分)

丸の内線 四ツ谷駅 (1番出口から徒歩3分)

会費：5,000円です! (新入会員(駒77)は無料!)

当日受付でもお支払いいただけますが、会報に同封の振込用紙にて
事前にお振込みいただけますと助かります。

★申込方法：メール・FAX・はがきにて各自以下の内容をご記入の上、お申し込みください。

氏名・卒業回(第三 回)または(駒 回)

郵便番号・住所・携帯または固定電話番号

★申込締切：4月末日(会場のスペースの都合上、先着100名様で締め切らせていただきます。)



皆さまは どの時代の受験生でしたか?

松桜会活動の中で多くの先輩後輩と接するうちに、年代により受験の状況がかなり異なっていることがわかり、調べてみました。

1947年	学校教育法施行(6・3・3・4制) 9ヵ年の義務教育制度 始まる
1948年度	新制度の都立高校入学開始 中学校側でのアチーブメントテスト(学力検査「国数社理」の4教科)と教科学習成績などを選抜審査対象とした
1950年	保健体育科・芸術科(音楽、美術)を設置 学区の縛りはなく、東京都内どこからでも受験可能
1952年度	学区合同選抜制度 都内地域を7学区に分け、在住の同一学区内で第一志望合格と一部学区合格者には再志望の出願が許された。駒場高校は第二学区(新宿区・渋谷区・目黒区・世田谷区)
1954年度	高校が試験会場となる
1956年度	英語、更に実技4教科(音美体技/家)も加わり計9教科の学力検査実施
1959年度	専門課程入試(保健体育科・芸術科)に実技適性検査を実施
1967年度	学校群制度「国数英」3教科受験 学区内に2～3校の学校群を作り、群を選んで受験し、合格の場合、群のいずれかの学校に振り分けられる制度 駒場高校は新宿高校と2校で21群
1972年	芸術科が都立芸術高校として分離独立
1982年度	グループ合同選抜 「国数英社理」5教科受験 学区内を2グループに分け、グループ内で第一志望に不合格でも、グループの基準点を満たせばグループ内の他校を第二志望と出来た。駒場高校は第二学区の第一グループ(戸山・青山・駒場・新宿・都立大付属・目黒・広尾・赤城台)
1994年度	5教科受験 学校単独選抜制度導入(グループ合同選抜の廃止)
1996年度	推薦入学選抜開始
2003年度	学区制の全廃(都内ならどの学校も選べる)
2024年度	男女合同選抜実施(男女別定員の廃止)

※参考資料：学制百年史・学制百二十年史(文部科学省)／東京都教育委員会など

母校生徒の活躍 (1月現在)

- 男子バスケットボール部
・全国高校ウィンターカップ東京都予選第6位
- 女子バレーボール部
・春季大会兼関東大会東京都予選第9位 (関東大会出場)
- 水泳部
・関東高校選手権水泳競技大会出場
男子 50m自由形 100m自由形
800mフリースタイル
女子 200m自由形
400mメドレーリレー
800mフリースタイル
・全国高校総体水泳競技大会出場
男子 50m自由形 200m自由形
400mフリースタイル
400mメドレーリレー
女子 400mフリースタイル
・全国JOCジュニアオリンピック出場
男子 100m自由形 200m自由形
400mフリースタイル
●柔道部
・全国高校総体柔道競技大会東京都予選
男子 団体ベスト32
女子 団体ベスト8
個人63kg級第3位
・関東高校選抜柔道大会東京都予選
男子 個人73kg級ベスト16
個人48kg級ベスト8
女子 個人52kg級ベスト8
- 男子硬式テニス部
・都立対抗テニス大会 団体優勝
・関東公立テニス大会 団体優勝
・東京都立高校テニス選手権大会 シングルス準優勝 ダブルス優勝
- 陸上競技部
・関東高校陸上競技大会
男子 走高跳第2位 (全国大会出場)
円盤投第9位 砲丸投第14位
・高校総体陸上競技大会
男子 走高跳予選第17位
・全国JOCジュニアオリンピックU18大会
男子 円盤投第21位
・関東高校選抜新人大会
男子 円盤投第6位
女子 400m第8位
- 演劇部
・東京都高校文化祭演劇部門中央大会
全国高校演劇協議会長賞・審査員特別賞
東京都教育委員会賞・舞台美術賞 (関東大会出場)
・関東高校演劇連盟関東大会 優良賞
- 百人一首部
・全国高校総合文化祭
東京都代表選手に2名選出
団体戦優勝
・全国高校小倉百人一首かるた選手権大会 団体戦ベスト8

これからも母校生徒の応援を
よろしく願っています！

馬淵伸子理事長からのご挨拶

例年、会報がお手許に届く頃、母校でも桜がきれいに咲いています。2月からの紅白梅、そして桜は心を平和にしてくれます。2月に記録的な大雪に見舞われた地域の皆様に日常と笑顔が戻られたことを願っております。
永年パリを拠点に建築家として活躍された早間玲子様(駒4)が

1月に逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

松桜会ではコロナ中に開催を見合わせていました「同窓の集い」と「コチロンダンスを踊る会」を再開いたします。同窓の皆様との交流と、第三・駒場と受け継がれた鹿鳴館時代からのコチロンダンスを守りたいと思います。若い会員の皆様もどうぞ参加ください。平成17年度から開催されていま

松桜会事務局からのお知らせとお願い

お手伝いのお願い

松桜会では会報の発送作業、都駒祭参加時のお手伝いなど、同窓会活動にご参加いただける方を募集しています。

ご興味のある方は松桜会事務局までご連絡ください。

松桜会役員募集！

松桜会では評議員・理事・スタッフとして松桜会活動に協力してくださる方を募集しています。

同窓会会報の企画編集、松桜会講座、コンサートの企画など様々な事業を充実させたく思っています。

ご興味のある方は事務局までお問い合わせください。

年会費納入のお願い

松桜会会報の送料(ゆうメール代)が値上がりしています。皆様には年会費納入にご協力をお願いいたします。

松桜会年会費免除のお知らせ

松桜会年会費は本年度中に80歳を迎える学年から免除となります。(今年度は駒16回から上の学年が対象です。)

い寄付のお願い

松桜会では1口千円からのご寄付を受け付けています。皆さまのご支援、ご協力をお願いいたします。

住所変更届のお願い

転居の際には新住所のご連絡をお願いいたします。

届出の方法

本紙1頁にあるQRコード、またはホームページから手続きできます。

訃報

山中 信夫先生(英語)
(2024年11月17日)
謹んでご冥福をお祈りいたします

寄付者芳名

2025年1月末日現在
2024年7月以降本年1月末日までに34名の皆さまから合計14万千円のご寄付をいただきました。皆さまのご協力に心から感謝申し上げます。

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|----|----|----|---|
| 駒55 | 駒36 | 駒35 | 駒33 | 駒31 | 駒31 | 駒27 | 駒19 | 駒17 | 駒17 | 駒17 | 駒17 | 駒15 | 駒14 | 駒14 | 駒14 | 駒14 | 駒13 | 駒13 | 駒13 | 駒12 | 駒11 | 駒10 | 駒10 | 駒7 | 駒7 | 駒6 | 駒3 | 駒2 | |
| 川 | 陣 | 匿名1名 | 東 | 匿名1名 | 安 | 匿名1名 | 斎 | 匿名1名 | 白 | 高 | 徳 | 石 | 下 | 匿名4名 | 濱 | 世 | 佐 | 匿名1名 | 田 | 村 | 伊 | 望 | 川 | 城 | 小 | 小 | 齊 | 石 | 山 |
| 井 | 内 | 名 | 田 | 田 | 田 | 藤 | 藤 | 藤 | 鳥 | 田 | 永 | 井 | 平 | 勝 | 良 | 良 | 藤 | 口 | 尾 | 藤 | 月 | 島 | 清 | 明 | 榮 | 絹 | 池 | 原 | 崎 |
| 真 | 秀 | 史 | 康 | 一 | 彦 | 久 | 子 | 子 | 理 | 子 | 子 | 智 | 郎 | 子 | 恵 | 悠 | 悠 | 朋 | 史 | 美 | 将 | 幹 | 光 | 子 | 子 | 子 | 良 | 恵 | 春 |
| 央 | 史 | | 志 | | | | | | | | | | | | | 紀 | 紀 | 子 | 子 | 子 | 地 | | | | | | 美 | 世 | |

松桜会講座のお知らせ(令和7年度上期)

4/11(金) 締切(必着)

対象者：駒場松桜会会員・母校教職員・PTA会員 他

申込方法：往復はがきに、次の内容を記入してください。

①講座名 ②郵便番号・住所 ③携帯及び固定電話番号 ④氏名

⑤会員一卒業回 教職員一所属 PTA会員一お子様の氏名・学年・ホーム

☆返信はがきに宛先の住所・氏名を記入してください。1つの講座につき1枚でお申し込みください。

申込先：〒153-0044 目黒区大橋2-18-1 都立駒場高校内 (一財)駒場松桜会事務局

☆申込後のキャンセルは、開講日の2週間前からは受講料をいただきますことをご了承ください。

A講座

講師

伊藤芙佐子
(駒12)
志村 文子
(駒24)

楽しいコチロン

第三から駒場に受け継がれた優雅なフランスの集団舞踊、コチロンを踊りませんか。コチロンが懐かしい方、初めての方もどうぞご参加ください。

5/10(土)・5/24(土)・
6/7(土)・6/21(土)・
7/5(土)
14:00～15:30

定員：30名

受講料：無料

会場：母校生徒ホール
(運動シューズを履いてください。)

B講座

企画

講座部会

JR中央・総武線の駅から歩く路地めぐり —東中野・中野・高円寺駅—

1. 東中野駅から：かつて、内藤新宿に野菜を運んでいた街道の辺りを歩く。
2. 中野駅から：お犬様・中野ブロードウェイ・中野サンプラザ・駅周辺再開発の街。付近に多くの寺社がある住宅街を巡る。
3. 高円寺駅から：高円寺と名の付く3つの駅から三代将軍徳川家光の足跡を辿る。

5/17(土)・5/31(土)・
6/14(土)
10:00 駅出発
12:00 解散予定

諸般の事情で、日程の変更や中止になる場合もあります。ご了承ください。

定員：30名

受講料：2,000円

(含 資料代、保険料)

参加者の声

「JR京浜東北線の駅から歩く路地めぐり」に参加して

今回は大井町駅、大森駅、蒲田駅周辺を3回に亘り巡りました。一回あたり二時間、一万二千歩ほどの距離の中に、十カ所以上もの実は歴史ある名所をまわられるこの散策は、参加を重ねる度に心も体も元気になれる気がいたしました。今回の場所は私が30年以上も暮らしている生活圏でもありましたが、知らなかったことも多く、またそこにあることは知っていても自転車を通り過ぎるだけ、足を踏み入れることさえありませんでした。近年開発により、どんどんと街の姿が変化しているこの地域ですが、古くは平安時代からのものが連続と現存し守られているのを目の当たりにでき、なぜか安堵いたしました。

卒後40年以上、人生の紆余曲折を経てまたこのような形で幅広い年齢の同窓の方々とつながれ、街路樹の紅葉や紅白の寒梅に季節を感じ、古に思いを馳せながらのんびりと歩くことになるとは思いもしませんでした。毎回私たちの知的好奇心をくすぐり、用意周到な企画を立ててくださる役員の方々のご苦勞にも本当に感謝の気持ちでいっぱいです。どうもありがとうございます。

成相 章子(旧姓 海老澤)(駒31)

「西洋美術の女性芸術家たち」を受講して

西洋美術の中で好きな画家を挙げてみると、レンブラント、フェルメール、ターナー、マティス：そう男性ばかりです。女性画家はと考えると、カサットしかすぐに思い浮かびません。2016年横浜美術館「メアリー・カサット展」で初めて知った画家です。この展覧会は、当時横浜美術館で主席学芸員をされていたクラスメートの沼田さんが企画担当したもので、松桜会講座も開かれました。今回は沼田さんの2回目の講座で、なぜ西洋美術界であまり女性芸術家たちが紹介されてこなかったのか興味を持ち、受講しました。

17世紀のフランスアカデミー・宮廷美術から20世紀のエコール・ド・パリに至る女性画家たちについての3回の講義を通して、女性が画家になることが必ずしも好意的に受け止められなかった時代に、幾重もの壁と戦いながら強く生き抜いた波乱万丈の人生や作品に込めた思いを学びました。

これから作品を鑑賞する際、自分の感性とともに時代背景や人物像の知識を得ながら新たな発見を楽しんでいきたいと思っています。そのためにも沼田さんの3回目の講座開催を期待しています。

深瀬 美智子(旧姓 大網)(駒31)